

グルーミング概論・実習Ⅰ

(授業概要)

シャンプー犬種のグルーミングの意義を理解し、実際に犬の爪切り、バリカン、耳掃除、ブラッシング、シャンプー、ドライイング、足回りカットを行い、犬の保定の仕方や犬の扱い方の基礎を学ぶ。学生同士協力しスムーズに実習を行うことが出来るようにコミュニケーション能力を身に付ける。

科	生命科学科	教員	白瀬 貴子
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35×7 コマ

目標

1 学期

グルーミング道具の使い方、用途を理解し、1 頭仕上げる事が出来るようになる
ハサミの動かし方、犬の保定の仕方、犬の扱い方、消毒の仕方、掃除の仕方を理解し身に付ける

2 学期

犬に負担がかからないようにグルーミングが出来るスキルを取得する
グルーミングマスターライセンスの取得に向けてスピードアップ、綺麗な仕上げを目指す
(チワワ：100 分 ダックスフンド・パピヨン：115 分仕上げ)

授業計画

- 1 回 道具配布・座学（グルーミングとは・ベイシック）
- 2 回 座学（ドライイング・実習について）
- 3 回 座学（ウィッグ梳き・リボン作成）
- 4 回 モデルグルーミング
- 5 回 初グルーミング実習（3 人で 1 頭）・実習の流れの理解
- 6 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）・バリカン開始・ハサミ練習
- 7 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）
- 8 回 グルーミング実習（3 人で 1 頭）・足回りカット開始
- 9 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 10 回 グルーミング実習（2～3 人で 1 頭）
- 11 回 前期試験期間 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 12 回 前期試験期間 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 13 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）・一般犬での実習開始
- 14 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）・中型犬開始
- 15 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）・大型犬開始
- 16 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）
- 17 回 グルーミング実習（1～2 人で 1 頭）

18回	グルーミング実習（1人で1頭）
19回	グルーミング実習（1人で1頭）
20回	グルーミング実習（1人で1頭）
21回	グルーミング実習（1人で1頭）
22回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
23回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
24回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
25回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
26回	グルーミング実習（1人で1頭）ライセンス方式で行い時間を意識
27回	グルーミング実習・ライセンス試験（2週に分けて実施）
28回	グルーミング実習・ライセンス試験（2週に分けて実施）
29回	グルーミング実習（1人で1頭）
30回	グルーミング実習（1人で1頭）
31回	グルーミング実習（1人で1頭）
32回	グルーミング実習（1人で1頭）
33回	グルーミング実習（1人で1頭）
34回	グルーミング実習（1人で1頭）
35回	グルーミング実習（1人で1頭）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義・実技実習

きょうざい 教材
グルーミング用品・講義プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、 じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
ハサミの動かし方を自宅で練習する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物看護基礎実習 I

(授業概要)

身近な動物を中心に、接し方から健康管理に関する基礎知識を学び、実践力を習得する。
衛生管理の大切さを理解し行動できる習性を身につける

科	生命科学科	教員	石原 昌代
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	70 時間

目標

1 学期

基本的な保定を学び、動物に負担をかけず安全に接する方法を身につける。
基本保定をベースに、バイタルチェックをスムーズに行えるようになる。

2 学期

動物の状態の観察ポイントを理解し、動物に負担をかけず接する事を身につける。
動物の代表的な病気とその予防法を理解し、説明できるようになる。
動物の S O S、またその症状を理解し対応方法を学ぶ。

授業計画

- 1 回 自己紹介 授業について (衛生管理と実行 実習の注意点)
- 2 回 動物の接し方
- 3 回 犬：基本保定 1
- 4 回 犬：基本保定 2
- 5 回 犬：基本保定 3
- 6 回 犬：基本保定 4
- 7 回 犬：基本保定 5
- 8 回 バイタルサイン 1
- 9 回 バイタルサイン 2
- 10 回 バイタルサイン 3
- 11 回 バイタルサイン 4
- 12 回 バイタルサイン 5
- 13 回 猫について
- 14 回 猫について
- 15 回 実技テスト

16回	前期試験
17回	前期試験返却
18回	フィジカルアセスメント
19回	フィジカルアセスメント
20回	全身チェック①
21回	全身チェック②
22回	全身チェック③
23回	全身チェック④
24回	全身チェック⑤
25回	全身チェック⑥
26回	全身チェック⑦
27回	グループワーク
28回	予防指導
29回	予防指導
30回	グループワーク
31回	試験範囲の説明
32回	実技試験
33回	後期試験
34回	後期試験返却
35回	グループワーク

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、グループワーク、実習
きょうざい 教材
プリント 動物 めいぐるみ
ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%（実技試験含む）、出席率 20%
じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし
じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
動物看護師

基礎健康管理学 I

(授業概要)

犬や猫など身近な動物を中心に日常的な健康管理や予防について学ぶ

科	生命科学科	教員	石原 昌代
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35 時間

目標

1 学期

犬や猫の日常的な健康管理と予防について学び、正常時と異常時の違いを理解する

2 学期

引き続き健康学と予防について学び、またそれらを基礎とし、代表的な疾患について理解する

授業計画

- 1 回 自己紹介 授業について
- 2 回 散歩、運動
- 3 回 排尿、排便
- 4 回 全身の手入れ①
- 5 回 全身の手入れ②
- 6 回 全身の手入れ③
- 7 回 希釈の計算方法
- 8 回 熱中症について①
- 9 回 熱中症について②
- 10 回 犬の登録
- 11 回 狂犬病とは
- 12 回 狂犬病とは
- 13 回 混合ワクチン
- 14 回 混合ワクチン
- 15 回 口腔衛生

16 回	口腔衛生
17 回	口腔衛生
18 回	前期試験
19 回	前期試験返却
20 回	避妊去勢
21 回	避妊去勢
22 回	フィラリア予防①
23 回	フィラリア予防②
24 回	フィラリア予防③
25 回	外部内部寄生虫①
26 回	外部内部寄生虫②
27 回	外部内部寄生虫③
28 回	外部内部寄生虫④
29 回	外部内部寄生虫⑤
30 回	外部内部寄生虫⑥
31 回	同行避難
32 回	同行避難
33 回	同行避難
34 回	後期試験
35 回	後期試験返却

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、グループワーク
きょうざい 教材
コンパニオンアニマルの新健康管理学
ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%
じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし
じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
動物看護師

コンピューター実習

(授業概要)

本講義では、Microsoft Word を用いたビジネス文書の作成、Excel を用いた表計算とグラフ作成、PowerPoint を用いた基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行えるようになることを目的とする。

科	生命科学科，動物看護師学科	教員	近澤優子
コース	DGT, SML, TEP, WLD, VN1	教員の実務経験	×
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

- 1 学期
- タッチタイピングが行える。
- Microsoft Word を使用して、基本的なビジネス文書の作成が行える。
- 2 学期
- Microsoft Excel を使用して、数式・関数を用いた計算と、グラフの作成が行える。
- Microsoft PowerPoint を使用して、基本的なプレゼンテーションスライドの作成が行える。

授業計画

- 1 回 授業概要
- 2 回 タイピング基礎
- 3 回 文字の入力と変換
- 4 回 Word 基本操作，画面構成
- 5 回 ページ設定，文章入力，文字の編集
- 6 回 フォントの設定，段落設定，箇条書き
- 7 回 課題（1）
- 8 回 グラフィック機能（1）；ワードアート，画像
- 9 回 グラフィック機能（2）；文字の効果，ページ罫線
- 10 回 グラフィック機能（3）；図形，SmartArt
- 11 回 表の作成と編集（1）
- 12 回 表の作成と編集（2）
- 13 回 表の作成と編集（3）
- 14 回 課題（2）
- 15 回 前期復習
- 16 回 Word 確認テスト
- 17 回 Word 確認テスト振り返り（前期最終）

18 回	後期授業概要, Excel 基本操作, 画面構成 (後期初回)
19 回	データの入力と編集, オートフィル
20 回	数式の入力
21 回	関数 (1); SUM, AVERAGE
22 回	関数 (2); COUNT, MAX, MIN
23 回	絶対参照と相対参照
24 回	表の書式設定, 表示形式
25 回	表の編集
26 回	グラフ (1); 円グラフ
27 回	グラフ (2); 棒グラフ
28 回	Excel 復習
29 回	Excel 確認テスト
30 回	Excel 確認テスト振り返り
31 回	PowerPoint 基本操作, 画面構成, 新規プレゼンテーションの作成
32 回	テーマ設定, テキストの入力と編集, 箇条書き, フォントの設定
33 回	図形, 画像, アニメーション
34 回	個人課題 (1)
35 回	個人課題 (2), 後期振り返り (後期最終)

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法
コンピューター演習

きょうざい 教 材
よくわかる Word2016 & Excel2016, FOM 出版

ひょうか ほうほう 評 価 の 方 法
授業中の取り組み態度 10%, 課題提出 40%, テスト 50%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
予習 1h, 復習 1h

じつむけいけん じゅぎょうか もく かんけい 実 務 経 験 と 授 業 科 目 の 関 係

コンパニオンキャット I

(授業概要)

ペットに関わる職業（トリマー、ペットショップ、動物保護、動物看護師）を目指すうえで知っておくべき猫の基礎知識について、種類や歴史、身体の特徴、繁殖、病気を中心に全般的な知識を習得する。

科	生命科学科	教員	上田阿由美
コース	ドッグスペシャリストコース トリミングサロン起業コース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35 時間

目標

1 学期

猫についての基本的な知識を知るとともに、猫と犬の違いを学ぶ。また、猫の行動学も学び、理解をし、説明できるようになる。

2 学期

猫種、仔猫の健康チェック方法、ケアの仕方、伝染病などの猫の病気を学び、それらを人に伝えられるようになる。

授業計画

前期

- 1 回 オリエンテーション（授業のルール・評価の出し方。）上田の自己紹介
- 2 回 プロのMIXと純血種の定義
- 3 回 LH／SHの性格。遺伝等の違い
- 4 回 アメリカンショートヘアについて
- 5 回 MALE／FEMALEの性格等の違い
- 6 回 猫と犬の違い①（習性・体型・感触）
- 7 回 猫と犬の違い②（運動感覚・体臭・排泄物）
- 8 回 猫と犬の違い③（種類・腸管・歯・毛色）
- 9 回 猫と犬の違い④（繁殖機能）
- 10 回 行動学①（舌・爪・尾）
- 11 回 行動学②（髭・鼻・目・耳）
- 12 回 行動学③（内臓・皮膚・体感・マタタビ）
- 13 回 CFA公認猫種のDVD①
- 14 回 CFA公認猫種のDVD②
- 15 回 猫のタイプによる分類
- 16 回 猫のタイプによる分類
- 17 回 前期末テスト
- 18 回 前期末テスト答え合わせ＆不理解部分の説明

後期
19 回 子猫の健康チェック①
20 回 子猫の健康チェック②
21 回 子猫の健康チェック③
22 回 毎日のケアー①
23 回 毎日のケアー②
24 回 毎日のケアー③
25 回 ワクチンについて①
26 回 ワクチンについて②
27 回 ワクチンについて③
28 回 猫の病気①
29 回 猫の病気②
30 回 猫の病気③
31 回 猫の血液型①
32 回 猫の血液型②
33 回 猫の血液型③（F N I）
34 回 後期末テスト
35 回 後期末テストの答え合わせ&不理解部分の説明

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法
講義

きょうざい 教 材
C F A猫種 スタンダード訳本

ひょうか ほうほう 評 価 の 方 法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
健康チェックやケアを実際に猫を扱いながら行う

じつむけいけん じゅぎょうか もく かんけい 実務経験と 授 業 科 目 の 関 係
あり

アニマルアクティビティ

(授業概要)

アニマルセラピーやアニマルアクティビティの現状とセラピードッグの育成に関する適性飼育と必要な条件を学び、ボランティアや教育、介護などで活躍できる人材の育成を行う。

科	生命科学科	きょういん 教員	荻野 直美
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教員の実務経験	○
たいしょうねんじ 対象年次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

目標

1 学期

アニマルセラピーを通じて、ペット動物に対する意識の向上

動物介在活動の普及・ボランティアの育成

2 学期

動物介在活動の実践と動物を飼い暮らすことの大切さと難しさを伝えられるようになる。

(動物の適性飼育の重要性)

授業計画

- 1 回 自己紹介、アニマルセラピーとは
- 2 回 AAA・AAT・AAE 概要
- 3 回 AAT を行うためには
- 4 回 動物がもたらす効果
- 5 回 AAT を行う側からの分類①
- 6 回 AAT を行う側からの分類②
- 7 回 AAT を受ける側からの分類
- 8 回 AAT を行う上での動物のストレス①
- 9 回 AAT を行う上での動物のストレス②
- 10 回 動物の適性評価①
- 11 回 動物の適性評価②
- 12 回 活動中のストレス要因
- 13 回 患者に合った動物を選ぶ
- 14 回 AAT の適応に注意が必要な場合
- 15 回 動物への不適当な扱い
- 16 回 捨てず・増やさず・飼うなら一生①
- 17 回 テスト（筆記）
- 18 回 テスト（解答）前期まとめ

19回	捨てず・増やさず・飼うなら一生②
20回	グループワーク
21回	活動に参加する動物のチェック
22回	活動に際しての注意点
23回	活動当日の注意点 デモンストレーション
24回	ボランティアの責任
25回	施設と設定
26回	動物を飼う「食事編」
27回	動物を飼う「環境編」
28回	動物を飼う「体の手入れ編」
29回	動物を飼う「運動編」
30回	動物を飼う「予防編」
31回	動物を飼う「トレーニング編」
32回	動物を飼う「愛情・絆編」
33回	後期ノートチェック、テスト範囲まとめ
34回	テスト（筆記）
35回	テスト（解答）後期まとめ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、演習、グループワーク

きょうざい 教材
ノートプリント配布 1～23、その他環境省の配布ポスター

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

けいけん じゅぎょうかもく かんけい 経験と授業科目の関係
あり

ビジネスマナー

(授業概要)

前期においてはインターンシップに備え履歴書・挨拶状・お礼状が一人で書けるようになる事。
後期については今後の就職活動を見据えて、電話対応・席次・敬語などの基本的なビジネスマナーが一人で実践できるようになること。

科	生命科学科	教員	荻野 将士
コース	DOG,TEP,WLD	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標

前期

履歴書・挨拶状・お礼状が一人で書けるようになる

後期

就職活動を見据え、基本のビジネスマナーが一人で実践できるようになる

授業計画

前期

- 1 回 オリエンテーション
- 2 回 校舎見学/受付の利用方法/校内でのエレベータの使い方
- 3 回 履歴書の書き方①(個人情報の書き方について)
- 4 回 履歴書の書き方②(学歴/職歴)
- 5 回 履歴書の書き方③(自己紹介書)
- 6 回 履歴書の書き方④(自己紹介書)
- 7 回 挨拶状の書き方①
- 8 回 挨拶状の書き方②
- 9 回 お礼状の書き方①
- 10 回 お礼状の書き方②
- 11 回 期末課題実施①(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 12 回 期末課題実施②(履歴書・挨拶状・お礼状)

後期

- 13 回 期末課題実施③(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 14 回 期末課題実施④(履歴書・挨拶状・お礼状)
- 15 回 前期期末課題確認
- 16 回 期末課題フィードバック
- 17 回 席次①

18回 席次②(実践)

2学期

19回 電話応対①

20回 電話対応②(実践)

21回 電話対応③(実践)

22回 ビジネスメール①

23回 ビジネスメール②(署名作成)

24回 名刺交換①

25回 名刺交換②(実践)

26回 封筒の送り方①

27回 封筒の送り方②(実践)

28回 面接マナー①

29回 面接マナー②

30回 敬語について①

31回 敬語について②

32回 後期期末試験対策

33回 後期期末試験対策

34回 後期期末試験実施

35回 試験返却、解説

授業の方法

講義/問題演習/実践

教材

資料配布

評価の方法

期末試験80%、授業態度20%

授業外での学習方法

ビジネスマナーに関する書籍/参考動画の閲覧

実務経験と授業科目の関係

○

資格対策

(授業概要、目的)

サービス接遇検定 3 級及び、愛玩動物飼養管理士 2 級の認定試験で合格する事。
試験に合格し資格を取得することで就職活動や就職後の業務に活用できる。
サービス接遇検定⇒6 月上旬に認定試験開催。試験範囲(サービススタッフの資質/専門知識/一般知識/
対人技能/実務技能)の対策授業を行う。
愛玩動物飼養管理士⇒11 月下旬に認定試験開催。スクーリング/マークシート課題の実施と試験範囲
の対策授業を行う。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	荻野
コース	DOG、SML、TEP、VN1	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	×
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

もくひょう
目 標

前期

- ・ サービス接遇検定 3 級取得を目指す。
- ・ 基本的なサービス接遇(相手に満足を提供すること)を身につけるために必要な知識と技能を身につける。

後期

- ・ 愛玩動物飼養管理士 2 級取得を目指す。
- ・ スクーリング/マークシートの実施を行い試験範囲の内容を把握する。問題の解説。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

前期 サービス接遇検定

- 1 回 オリエンテーション(受験申込書記入/試験概要の説明)
- 2 回 サービススタッフの資質について
- 3 回 専門知識
- 4 回 一般知識
- 5 回 対人技能
- 7 回 実務技能
- 8 回 模擬試験
- 9 回 オリエンテーション(愛玩動物飼養管理士教科書配布/課題の説明)
- 10 回 スクーリング実施
- 11 回 スクーリング実施
- 12 回 マークシート課題報告問題実施

後期 愛玩動物飼養管理士

- 13 回 マークシート課題報告問題実施
- 14 回 マークシート課題報告問題実施/前期期末試験対策

15 回	前期期末試験の実施
16 回	試験返却、解説
17 回	愛玩動物飼養管理士試験対策①
18 回	愛玩動物飼養管理士試験対策②
19 回	愛玩動物飼養管理士試験対策③
20 回	愛玩動物飼養管理士試験対策④
21 回	愛玩動物飼養管理士試験対策⑤
22 回	愛玩動物飼養管理士試験対策⑥
23 回	愛玩動物飼養管理士試験対策⑦
24 回	愛玩動物飼養管理士試験対策⑧
25 回	愛玩動物飼養管理士試験対策⑨
26 回	愛玩動物飼養管理士試験対策⑩
27 回	SPI 対策①
28 回	SPI 対策②
29 回	SPI 対策③
30 回	SPI 対策④
31 回	SPI 対策⑤
32 回	SPI 対策⑥
33 回	SPI 対策⑦
34 回	後期期末試験実施
35 回	試験返却、解説

授業の方法
対策資料及び教本を用いた授業の実施

教材
サービス接遇検定実問題集(3 級)/愛玩動物飼養管理士 2 級教本 2 冊/スクーリング資料/ペットの飼養管理

評価の方法
期末試験80%/授業態度20%

授業外での学習方法
問題集/スクーリング/マークシート/配布プリントの復習

実務経験と授業科目の関係
○

HR

(授業概要)

学生との面談や行事についてアナウンスする。主に犬に関わる職業（トレーナー、トリマー、ペットショップ、動物保護等）を目指すにあたり、どんな人材が求められ、自分はどのような人間か、グループディスカッションを行い、理解を深める。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	伊勢 朱里
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35 時間

もくひょう
目 標

- 1 学期
- 専門学校や授業がある意味を理解し、何を意識して学校生活を送るべきかを理解し、行動する
自分や相手の事を知り、学校生活や就職先で必要なコミュニケーション能力を身に付ける
- 2 学期
- 就職についての意識を高めるためにペット業界研究を行い、自分は何の職業が向いているのか、何が本当にやりたいのかを見極め、動物業界や職業を知るとともに、自分の進路決定を行う

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回
- 面談・自分の事を知ろう
- 2 回
- 面談・自分の事を知ろう
- 3 回
- 面談・自分の事を知ろう
- 4 回
- 面談・自分の事を知ろう
- 5 回
- 研修旅行について
- 6 回
- 研修旅行について
- 7 回
- 研修旅行を終えて・レポート作成
- 8 回
- 動物愛護センターについて
- 9 回
- 動物愛護センター見学について
- 10 回
- 業界研究とは
- 11 回
- スポーツ大会について
- 12 回
- スポーツ大会について
- 13 回
- スポーツ大会について
- 14 回
- インターンシップ実習について
- 15 回
- インターンシップ実習について
- 16 回
- 面談・前期を終えて
- 17 回
- 面談・前期を終えて

18回	面談・前期を終えて
19回	面談・前期を終えて
20回	KAPEXPO について
21回	KAPEXPO について
22回	KAPEXPO について
23回	企業セミナーについて（注意事項・マナー）
24回	企業セミナーレポート作成
25回	なりたい職業について（グループディスカッション）
26回	なりたい職業について（グループディスカッション・ポスター作成）
27回	なりたい職業について（発表）
28回	ゼミ制度について・ゼミ希望アンケート
29回	履歴書の書き方
30回	面談・履歴書作成
31回	面談・履歴書作成
32回	面談・履歴書作成
33回	面談・履歴書作成
34回	面談・履歴書作成
35回	ドッグスペシャリストコースのまとめとこれから

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義・プリント作成・面談など

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験 80%、 じょうじょう 平常点 20%（ しゅつせきりつ 出席率、 じゅぎょうたいど 授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
なし

じつむけいけん じゅぎょうか もく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

エキゾチックアニマル I

(授業概要)

エキゾチックアニマルを扱う仕事（動物園、水族館、ペットショップ等）をする上で必要な知識を身につけるために、主要4種類（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット）のペット動物の分類や生体・生態・特性を理解し、小動物を正しく扱えるようになる。

科	生命科学科	きょういん 教 員	伊勢
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35 時間

もくひょう
目 標

- 1 学期
エキゾチックの概要およびペットや飼育動物の定義を習得する。ハムスターの生体や歴史、飼育時の注意点、病気などを理解し説明できるようになる。また、それらを通し飼育動物の基礎を固める。
- 2 学期
ウサギ・モルモット・フェレットの生体や歴史、飼育時の注意点、病気や症状などを理解し説明できるようになるまた、それらを通し飼育動物の基礎を固める。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 エキゾチックアニマルとは
- 2 回 ペットの適性について
- 3 回 ハムスターについて（分類、歴史）
- 4 回 ハムスターについて（体の特徴
- 5 回 ハムスターについて（体の特徴
- 6 回 ハムスターについて（生理的な特徴）
- 7 回 ハムスターについて（飼育方法）
- 8 回 ハムスターについて（繁殖）
- 9 回 ハムスターについて（病気）
- 10 回 ハムスターについて（病気）
- 11 回 ウサギについて（分類・歴史）
- 12 回 ウサギについて（体の特徴）
- 13 回 ウサギについて（体の特徴）
- 14 回 ウサギについて（生理的な特徴）
- 15 回 前期試験
- 16 回 前期試験返し・解答
- 17 回 ウサギについて（飼育方法）
- 18 回 ウサギについて（繁殖）

19回	ウサギについて（病気）
20回	ウサギについて（病気）
21回	モルモットについて（分類・歴史）
22回	モルモットについて（体の特徴）
23回	モルモットについて（体の特徴）
24回	モルモットについて（生理的な特徴）
25回	モルモットについて（飼育方法・繁殖）
26回	モルモットについて（繁殖）
27回	モルモットについて（病気）
28回	モルモットについて（病気）
29回	フェレットについて（分類・歴史）
30回	フェレットについて（体の特徴）
31回	フェレットについて（生理的な特徴）
32回	フェレットについて（飼育方法）
33回	後期試験
34回	後期試験返し・解答
35回	フェレットについて（病気）

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
カラーアトラス エキゾチックアニマル

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 80%、平常点 20%（しゅつせきりつ じゅぎょうたいど 期末試験 出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
1回1回の授業ノートに関してポイントを各自まとめなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

コンパニオンドッグ

(授業概要)

- ・犬と共存するための知識を身につける。
- ・犬種ごとの生態・特徴を理解し、他者に説明ができる人材を育成する。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	岡田 有沙
コース	ドッグスペシャリスト (A・B)	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35×2 コマ

もくひょう 目 標
1 学期 犬の基本的な生態、歴史を理解する／人気犬種 5 種を知る。
2 学期 グループごとの犬の生態を理解する。

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
1 回 自己紹介①
2 回 自己紹介②
3 回 アニマルヒストリー：犬とは
4 回 犬種を学ぶ上での基本情報①
5 回 犬種を学ぶ上での基本情報②
6 回 犬種を学ぶ上での基本情報③
7 回 人気犬種①②
8 回 人気犬種③④
9 回 人気犬種⑤
10 回 前期振り返り・試験前対策
11 回 試験（実施）
12 回 試験（返却・解説）
13 回 犬のグループ分けについて
14 回 第 1 グループ①
15 回 第 1 グループ②
16 回 第 2 グループ①

17回	第2グループ②
18回	第3グループ①
19回	第3グループ②
20回	第5グループ①
21回	第5グループ②
22回	第6グループ①
23回	第6グループ②
24回	第7グループ①
25回	第7グループ②
26回	第8グループ①
27回	第8グループ②
28回	第9グループ①
29回	第9グループ②
30回	第10グループ①
31回	後期振り返り②・試験前対策
32回	試験（実施）
33回	試験（返却・解説）
34回	振り返り①
35回	振り返り②

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
教科書、プリント

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、 じゅぎょうたいど 授業態度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
教科書、ノート、プリントの復習

じつむけいけん 実務経験と じゅぎょうかもく 授業科目の かんけい 関係
あり

ドッグトレーニング概論・実習

(授業概要・目的)

犬を扱う仕事（トリマー、ペットショップ、動物看護師、ドッグトレーナー）をする上で必要な知識を身につけるために犬の生態、特質、犬種のもつ特性を理解し犬を正しく扱えるようになる。また家庭犬としてのしつけに必要な知識と技術を得る

科	生命科学科	教員	高山
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35回×3時間

目標

- 1 学期
- 犬の歴史と進化、家畜化について理解する。犬の生態、習性を知る
- 2 学期
- 犬のボディランゲージやサインを理解し、犬とのコミュニケーション技術を得る
- 人と犬との生活のルールやマナーを構築していく為の知識をつける

授業計画

- 1 回 実習の諸注意、班分け、
- 2 回 犬の歴史
- 3 回 犬の進化
- 4 回 家畜化とは
- 5 回 犬の生得的本能
- 6 回 犬の素因、犬種の特徴、特質について
- 7 回 犬の素因と育つ環境の相互作用
- 8 回 犬の脳と行動の関係
- 9 回 子犬の成長過程 1
- 10 回 子犬の成長過程 2
- 11 回 犬の群れの階級とは
- 12 回 テスト
- 13 回 テスト
- 14 回 テスト返し、解答
- 15 回 犬のボディランゲージ/同種同士のコミュニケーション
- 16 回 ボディランゲージ 1

17回	ボディランゲージ2
18回	犬のストレス
19回	犬の威嚇、攻撃行動
20回	カーミングシグナル
21回	カーミングシグナル
22回	犬のパーソナルスペース
23回	犬と人との暮らしについて/犬を飼うことのリスクとメリット
24回	家庭犬の選び方/家庭犬のしつけとは
25回	犬の去勢と避妊について/多頭飼育について
26回	犬の飼い主の為のリーダーシップ教育とは/リードプログラム
27回	リードプログラム
28回	ハウストレーニングとトイレトレーニング
29回	甘噛み・いたずら噛み
30回	子供のいる家庭での犬との関係づくり
31回	嫌悪刺激によるトレーニングの弊害と動物虐待、暴力の連鎖
32回	テスト
33回	テスト返し、解答
34回	お散歩のマナーとは
35回	家庭犬のしつけのまとめ

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
座学、実際に犬を使っでの実技実習

きょうざい 教材・
テキスト、DVD 等

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
実習犬の散歩等を通して、犬の管理や取扱い

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

ペット業界研究

(授業概要)

将来働くことになる動物業界の主にペット系分野についての、職業や業界の概要を学び、より幅広い視野を持つとともに、進路選択において柔軟な考えを持たせる。

科	生命科学科	教員	伊勢 朱里
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35 時間

目標

- 1 学期
- 職業や卒業後の進路について実体験を聞いて現実的にとらえる
- 2 学期
- 業界の問題とその解決に向けて自分たちが将来何をすべきかを考え、進路選択をする

授業計画

- 1 回 KAP 学生としての心得
- 2 回 就職活動とは
- 3 回 ペット業界の職業①
- 4 回 ペット業界の職業②
- 5 回 ペット業界の職業③
- 6 回 ペット業界の職業④
- 7 回 ペット業界の職業⑤
- 8 回 ペット業界の職業⑥
- 9 回 ペット業界での就職への道のり①
- 10 回 ペット業界での就職への道のり②
- 11 回 インターンシップ実習について
- 12 回 インターンシップ実習について
- 13 回 インターンシップ実習について
- 14 回 インターンシップ実習について
- 15 回 ペット業界での問題
- 16 回 ペット業界での問題
- 17 回 前期期末試験
- 18 回 前期期末試験返却
- 19 回 ペット業界での就職への道のり③

20 回 ペット業界での就職への道のり④

21 回 今後の進路・就職活動計画①

22 回 今後の進路・就職活動計画②

23 回 企業説明会準備

24 回 企業説明会準備

25 回 企業説明会振り返り

26 回 自己分析①

27 回 自己分析②

28 回 自己分析③

29 回 1 年生の振り返り

30 回 進路選択①

31 回 進路選択②

32 回 進路選択③

33 回 進路相談

34 回 後期期末試験

35 回 後期期末試験返却・解説

授 業 の 方 法

講義・プリント作成・面談など

教 材

なし

評 価 の 方 法

きまつしけん 期末試験 80%、平常点 20%（しゅっせきりつ 出席率、じゅぎょうたいど 授業態度等）

授 業 外 で の 学 習 方 法

なし

実務経験と授 業 科 目 の 関 係

あり

人間形成概論

(授業概要)

人間関係に関する基礎知識を持ち、基礎的なコミュニケーションスキルを会得することにより、生き物を扱う職務を遂行する社会人として、良好な人間関係を構築できる応用力を修得する。
心身ともに健康な生活を送るために必要なヘルスリテラシーを身につける。

か 科	生命科学科、動物看護学科	きょういん 教 員	校長：中野美和子
コース	DGT, TEP, SML, AQR, WLD, VN1	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35 単位

もくひょう 目 標
1 学期 人間の身体と心の関係、人間関係の基本である自己概念について考える。次いで、対人認知に関わる理論と実際を学び、考える。
2 学期 基礎的なコミュニケーションの概略を学び、次いで集団での行動、心理について学び、集団の一員として働き方、コーチングを含めた成人教育について学び、考える。 健康についてのリテラシー、生活習慣病の予防について学び、職場でのストレスへの対処力を身につけ、健康で有意義な人生を送る一助とする。

じゅぎょうけいかく 授 業 計 画
1 学期 1 回 アイスブレイクを兼ねた講師の自己紹介、人間の身体と心の関係 2 回 自律神経とストレスの関係、自律神経の整え方 3 回 自己認識・評価、リフレーミング 4 回 自分を大事にする、self-compassion 5 回 自尊感情（self-esteem）、自己主張 assertive 6 回 対人感受性、心の理論、 7 回 印象形成、対人認知とその歪み 8～10 回 対人認知の歪み：ステレオタイプ、偏見、透明性錯覚、現状維持バイアスなど 11 回 試験対策、 12 回 試験、あるいはレポート、 13 回 試験のフィードバック 2 学期 14～15 回 コミュニケーションの概略、不適切表現 16 回 内集団、内集団ひいき、集団圧力、同調、傍観者効果 17 回 集団、集団浅慮、集団心理～群集心理、社会的手抜き

18～19 回	リーダーシップ、チームで仕事をする事について
20～22 回	成人教育、コーチングとフォローアップ
23 回	ヘルスリテラシー、日本人の寿命と主な死因の現況、日本の健康政策
24～28 回	生活習慣病の概要とその予防：がん、循環器疾患・高血圧、糖尿病・脂質異常、COPD
29 回	飲酒、依存症、歯科疾患の概況と予防、
30～31 回	睡眠、疲労、メンタルヘルス
32 回	試験対策、
33 回	試験、レポート、
34 回	試験、レポートのフィードバック
35 回	感情処理、ストレス、ストレス対処

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義、問題についてのレポートと討論、グループワーク

きょうざい 教材
適切な教科書がないため、試験対策時に講義内容をまとめたプリントを配布する。

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん 期末試験・レポート提出 90%、 じゅぎょうたいど 授業態度10%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
自分自身の経験を考察するレポートを書く。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり

動物関連法規Ⅰ

(授業概要)

狂犬病予防法、動物愛護法を中心に家庭で飼育または動物に関わる仕事に就く上で知っておくべき各種動物に関する法律について学ぶ。

科	生命科学科	教員	井田 竜馬
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35 コマ

目標

1 学期

法律の仕組み、狂犬病予防法など動物に関わる以上は必須となる制度について理解できるようになる。

2 学期

動物愛護法を中心にペットビジネスや動物を飼育する際に知っておくべき事柄や制度について理解できるようになる。

授業計画

- 1 回 授業概要紹介、自己紹介など
- 2 回 犬猫飼養頭数、動物に関する社会の現状など
- 3 回 狂犬病予防法（1）狂犬病とは その 1
- 4 回 狂犬病予防法（2）狂犬病とは その 2
- 5 回 狂犬病予防法（3）狂犬病清浄国・地域について
- 6 回 狂犬病予防法（4）狂犬病予防法の概要 その 1 法の概要、目的
- 7 回 狂犬病予防法（4）狂犬病予防法の概要 その 2 対象動物、輸入禁止動物（感染症法）
- 8 回 狂犬病予防法（4）狂犬病予防法の概要 その 3 畜犬登録、狂犬病予防注射制度
- 9 回 狂犬病予防法（4）狂犬病予防法の概要 その 4 罰則など
- 10 回 動物が亡くなった場合（1）動物や動物の死体の法的立場

- 11 回 動物が亡くなった場合（2）廃棄物処理法と化製場法と動物
- 12 回 前期試験
- 13 回 前期試験返却・解説
- 14 回 動物が亡くなった場合（3）人の墓に動物を入れることはできるのか その 1
- 15 回 動物が亡くなった場合（3）人の墓に動物を入れることはできるのか その 2
- 16 回 動物愛護法（1）法律の成立背景その 1
- 17 回 動物愛護法（2）法律の成立背景その 2
- 18 回 動物愛護法（3）目的
- 19 回 動物愛護法（4）基本原則
- 20 回 動物愛護法（5）動物の飼い主の責任 その 1
- 21 回 動物愛護法（6）動物の飼い主の責任 その 2
- 22 回 動物愛護法（7）動物虐待に対する罰則 その 1
- 23 回 動物愛護法（8）動物虐待に対する罰則 その 2
- 24 回 動物愛護法（9）動物取扱業の規制 その 1
- 25 回 動物愛護法（10）動物取扱業の規制 その 2
- 26 回 動物愛護法（11）動物取扱業の規制 その 3
- 27 回 後期試験
- 28 回 後期試験返却、解説
- 29 回 動物愛護法（12）動物取扱業の規制 その 4
- 30 回 動物愛護法（13）第 2 種動物取扱業、実験動物と産業動物、
- 31 回 動物愛護法（14）特定動物 その 1
- 32 回 動物愛護法（15）特定動物 その 2
- 33 回 動物愛護法（16）マイクロチップの装着
- 34 回 動物愛護法（17）自治体の役割
- 35 回 1 年総復習

じゅぎょう ほうほう
授業の方法

講義

きょうざい
教材

テキスト、自作のプリント

ひょうか ほうほう
評価の方法

きまつしけん しゅっせきりつ じゅぎょうたいど
期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう
授業外での学習方法

1回1回の授業ノートに関してポイントを各自纏めなおし、随時チェックする。

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい
実務経験と授業科目の関係

あり

基礎生物学

(授業概要)
高校の生物の復習を基本に、身近な生物や人体について、より深く実感を持って理解する。

科	生命科学科	教員	黒川 花
コース	ドッグスペシャリストコース スモールアニマルコース アクアスペシャリストコース ワイルドアニマルコース	教員の実務経験	○
対象年次	1 年	年間単位時間	35

目標
前期…細胞と遺伝の法則、主な臓器等について理解する。
後期…免疫の仕組み、生命の変遷、生物学の基本について学ぶ。

授業計画
1 学期
1 回 細胞の構造(1)
2 回 細胞の構造(2)
3 回 生体を構成する物質
4 回 タンパク質、酵素
5 回 動物の組織と器官
6 回 遺伝子とゲノム
7 回 遺伝、メンデルの法則(1)
8 回 遺伝、メンデルの法則(2)
9 回 いろいろな遺伝
10 回 ヒトと遺伝
11 回 恒常性、体液、循環系
12 回 循環、HB
13 回 肝臓
14 回 肝臓、腎臓
15 回 まとめ
16 回 前期試験腎臓
17 回 前期試験返却、答合わせ

後期

- 18 回 生体防御（1）
- 19 回 生体防御（2）免疫と疾病
- 20 回 ホルモン
- 21 回 神経と感覚
- 22 回 自律神経
- 23 回 まとめ
- 24 回 46億年（1）
- 25 回 46億年（2）
- 26 回 自習
- 27 回 進化と形態
- 28 回 分類
- 29 回 学名
- 30 回 系統樹。ドメイン
- 31 回 原核生物界、原生生物界
- 32 回 植物界。菌界
- 33 回 動物界
- 34 回 後期試験
- 35 回 後期試験返却、答合わせ、生きるとは

授業の方法

教材と印刷物配布

教材

浜島書店『生物図表』

評価の方法

期末試験、80%、授業態度20%

授業外での学習方法

特になし。

実務経験と授業科目の関係

栄養学

(授業概要)

五大栄養素の基礎的な知識、犬猫に必要な栄養素、エネルギー要求量、ライフステージ毎の栄養管理、ペットフードの基本的知識、様々な疾患時の療養食の特性など、動物の状態に適合した食事管理について知識を身に着ける。

科	生命科学科	教員	橋本
コース	ドッグスペシャリストコース	教員の実務経験	○
対象年次	1年	年間単位時間	35コマ

目標

1 学期

五大栄養素について理解をする。BCS やエネルギー要求量の計算方法を身に着ける

2 学期

フードの歴史、種類、選び方、ライフステージ別のフードの違い、アレルギー、食べてはいけないもの、PB と NB の違いを理解し、接客できるようになる。

授業計画

- 1 回 栄養学とは/栄養を摂取するとは
- 2 回 五大栄養素（たんぱく質）
- 3 回 五大栄養素（たんぱく質）
- 4 回 五大栄養素（炭水化物）
- 5 回 五大栄養素（炭水化物）
- 6 回 五大栄養素（脂質）
- 7 回 五大栄養素（脂質）
- 8 回 五大栄養素（ビタミン）
- 9 回 五大栄養素（ビタミン）
- 10 回 五大栄養素（ミネラル）
- 11 回 五大栄養素（ミネラル）
- 12 回 ボディコンディションスコア（BCS）
- 13 回 エネルギー要求量
- 14 回 エネルギー要求量
- 15 回 エネルギー要求量
- 16 回 前期復習

17回	前期試験
18回	前期試験返却
19回	フードの歴史
20回	4D/フードの種類（ドライ・セミモイスト・ウェット）
21回	フードの種類（総合栄養食・栄養補助食・特別療法食）
22回	パッケージのみかた
23回	添加物・酸化防止剤・保存料
24回	ライフステージ（哺乳期・離乳期・成長期）
25回	ライフステージ（維持期・高齢期）
26回	ライフステージ（妊娠授乳期・治療期）
27回	食物アレルギー
28回	食物アレルギー
29回	犬猫が食べてはいけないもの
30回	犬猫が食べてはいけないもの
31回	PB と NB の違い
32回	後期復習
33回	後期試験
34回	後期試験返却
35回	振り返り

じゅぎょう ほうほう 授業の方法
講義

きょうざい 教材
なし

ひょうか ほうほう 評価の方法
きまつしけん しゅっせきりつ じゅぎょうたいど 期末試験 80%、平常点 20%（出席率、授業態度等）

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授業外での学習方法
ペットショップでフードや用品を見る

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授業科目の関係
あり o

公衆衛生 I

(授業概要)

本来はヒトの健康維持・増進を目的とする学問だが、疾患や環境問題の要因には動物との接触に起因するものも多数存在する。そこで、動物を扱うものとして共生社会を追究すべく、広く公衆衛生に関する知識を習得し、動物に関わる仕事全般に役立てる。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	森 聖
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんい じ かん 年間単位時間	35

目標

- 1 学期
- 人獣共通感染症について学び、説明できるようになる。
- 2 学期
- 寄生虫疾患と食中毒について学び、説明できるようになる。

授業計画

1 学期

- 1 回 ガイダンス__体の各部位の名称
- 2 回 公衆衛生__看護師教科書 5 巻 1 章より
- 3 回 疫学と疾病予防 -1__看護師教科書 5 巻 2 章より
- 4 回 疫学と疾病予防 -2__看護師教科書 5 巻 2 章より
- 5 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 6 編 2 章 愛護・適正飼養関連行政法規 3 節 狂犬病予防法
- 6 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 6 編 3 章 社会福祉行政・環境衛生法規
- 7 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 7 編 1 章 動物の使用管理と関わり合い 1-2 節
- 8 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 7 編 1 章 動物の使用管理と関わり合い 3-4 節
- 9 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 6 編 3 章 公衆衛生行政法規 1 節 感染症法
- 10 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 6 編 3 章 公衆衛生行政法規 2 節 家畜伝染病予防法
- 11 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 6 編 3 章 公衆衛生行政法規 3-4 節 検疫に関する法令、と畜場法
- 12 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 1 章 1-2 節
- 13 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 1 章 3-6 節
- 14 回 自主学習（登校不要）__宿題 免疫学
- 15 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 1 節
- 16 回 前期試験。愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節
人と動物の共通感染症とその対策 -1 ウイルスによる
- 17 回 前期試験 解説。愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2

節 人と動物の興津感染症とその対策 -2 細菌による

2 学期

18 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節

人と動物の共通感染症とその対策 -3 真菌による

19 回 "愛玩動物飼養管理士 1 級 9 編 1 章 動物の使用管理と公衆衛生 2 章 2 節 人と動物の共通感染症とその対策 -4 寄生虫による

20 回 自主学習（登校不要）_宿題

21 回 人畜共通感染症 -1__看護師教科書 5 巻 3 章より

22 回 人畜共通感染症 -2__看護師教科書 5 巻 3 章より

23 回 人畜共通感染症 -3__看護師教科書 5 巻 3 章より

24 回 人畜共通感染症 -4__看護師教科書 5 巻 3 章より

25 回 人畜共通感染症 -5__看護師教科書 5 巻 3 章より

26 回 人畜共通感染症 -6__看護師教科書 5 巻 3 章より

27 回 食品衛生 -1__看護師教科書 5 巻 4 章より

28 回 食品衛生 -2__看護師教科書 5 巻 4 章より

29 回 食品衛生 -3__看護師教科書 5 巻 4 章より

30 回 自主学習（登校不要）_宿題

31 回 環境衛生 -1__看護師教科書 5 巻 5 章より

32 回 環境衛生 -2__看護師教科書 5 巻 5 章より

33 回 後期試験。環境衛生 -3__看護師教科書 5 巻 5 章より

34 回 後期試験 解説。 環境衛生 -4__看護師教科書 5 巻 5 章より

35 回 まとめ-1

授業の方法

座学

教材

自作プリント

評価の方法

期末試験80%、出席率 20%

授業外での学習方法

ノートを纏めなおし、授業前に教員に提示する

実務経験と授業科目の関係

あり

動物解剖生理学Ⅰ

(授業概要)

身体各部分の形態や機能を詳しく学ぶことで、身体の恒常性(ホメオスタシス)について理解し、動物の管理に関わる仕事に必要な知識を身につける。

か 科	生命科学科	きょういん 教 員	森 聖
コース	ドッグスペシャリストコース トリミングサロン起業コース	きょういん じつむけいけん 教 員 の実務経験	○
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年次	ねんかんたんいじかん 年間単位時間	35

もくひょう
目 標

1 学期

身体を形成する各系統や重要諸臓器の機能と形態に関し、主要な性状及び特質を十分に理解認識し、説明できるようになる。

2 学期

同上

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

1 学期

- 1 回 ガイダンス_体の各部位の名称
- 2 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 1 章 体の基本の仕組み
- 3 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 2 章 消化器
- 4 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 3 章 泌尿器
- 5 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 4 章 運動器
- 6 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 3 編 5 章 皮膚と感覚器
- 7 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 1 章 循環器
- 8 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 2 章 呼吸
- 9 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 3 章 内分泌とホルモン
- 10 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 4 章 体内の情報伝達
- 11 回 愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 5 章 血液と造血器
- 12 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 1 章 生殖器の形態と機能
- 13 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 4 章 遺伝学概論
- 14 回 自主学習（登校不要）_宿題 免疫学
- 15 回 愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 2 章 犬の繁殖生理
- 16 回 前期試験。愛玩動物飼養管理士 2 級 4 編 3 章 猫の繁殖生理
- 17 回 前期試験 解説。愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 1 章 循環器

2 学期

18 回	愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 2 章	呼吸器
19 回	愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 3 章	内分泌とホルモン
20 回	自主学習（登校不要）_宿題	
21 回	愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 4 章	体内の情報伝達
22 回	愛玩動物飼養管理士 1 級 1 編 5 章	血液と造血器
23 回	愛玩動物飼養管理士 1 級 2 編 1 章	動物の遺伝
24 回	愛玩動物飼養管理士 1 級 2 編 2 章	動物の繁殖生理
25 回	骨格系__看護師教科書より	
26 回	筋肉系__看護師教科書より	
27 回	皮膚__看護師教科書より	
28 回	肝臓__看護師教科書より	
29 回	脾臓__看護師教科書より	
30 回	自主学習（登校不要）_宿題	
31 回	口腔、胃腸__看護師教科書より	
32 回	腎臓学__看護師教科書より	
33 回	後期試験。 免疫学__看護師教科書より	
34 回	後期試験 解説。 神経系__看護師教科書より	
35 回	まとめ-1	

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法
座学

きょうざい 教 材
自作テキスト

ひょうか ほうほう 評 価 の 方 法
きまつしけん 期末試験80%、出席率 20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
ノートを纏めなおし、授業前に教員に提示する

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実務経験と授 業 科目の関係
獣医

陸上実習

(授業概要)

様々な運動競技を通して、校外実習や就職時の際に必要な基礎体力の維持・向上を図る。
また、チーム戦を通じて主体性、協調性、積極性も高める。

科	生命科学科	きょういん 教 員	高橋 萌夢
コース	ドッグスペシャリストコース	きょういん じつむけいけん 教 員 の 実 務 経 験	×
たいしょうねんじ 対 象 年 次	1 年	ねんかんたんいじかん 年 間 単 位 時 間	35

もくひょう
目 標

- 1 学期
- ・ 点呼(時間厳守)→ラジオ体操→外周の流れを理解し自主的に動けるようになる。
 - ・ 安全に基礎体力を身につける。
 - ・ 自己管理ができるようになる。
- 2 学期
- ・ スポーツ大会での目標を全員一致させそれに向けて動くことができる。
 - ・ 安全に基礎体力を身につける。

じゅぎょうけいかく
授 業 計 画

- 1 回 自己紹介 ラジオ体操・外周ランニングオリエンテーション
- 2 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 3 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 4 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 5 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 6 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 7 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 8 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 9 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 10 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 11 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 12 回 前期期末試験(筆記) 実施
- 13 回 前期期末試験(筆記) 返却
- 14 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 15 回 外周ラン ラジオ体操 競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
- 16 回 外周ラン ラジオ体操 スポーツ大会練習

17回	外周ラン	ラジオ体操	スポーツ大会練習
18回	外周ラン	ラジオ体操	スポーツ大会練習
19回	外周ラン	ラジオ体操	スポーツ大会練習
20回	外周ラン	ラジオ体操	スポーツ大会練習
21回	外周ラン	ラジオ体操	スポーツ大会練習
22回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
23回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
24回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
25回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
26回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
27回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
28回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
29回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
30回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
31回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
32回	後期期末試験(筆記) 実施		
33回	後期期末試験(筆記) 返却		
34回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)
35回	外周ラン	ラジオ体操	競技(バスケットボール、バドミントン、バレーボール等)

じゅぎょう ほうほう 授 業 の 方 法
実習

きょうざい 教 材
なし

ひょうか ほうほう 評 価 の 方 法
きまつしけん じゅぎょうたいど 期末試験80%、授 業 態 度20%

じゅぎょうがい がくしゅうほうほう 授 業 外 で の 学 習 方 法
自宅でのストレス及び筋力トレーニング

じつむけいけん じゅぎょうかもく かんけい 実 務 経 験 と 授 業 科 目 の 関 係
なし